

事前評価調書

I 事業概要																																																																																									
事業名	農業農村整備事業（農地環境整備事業）																																																																																								
地区名	にしなやかやま 西中山地区																																																																																								
事業箇所	にしなやかやまちょう 豊田市西中山町																																																																																								
事業のあらまし	<p>本地区は、豊田市の中心部から北に約 10 km離れた中山間地域に広がる受益面積 29.1ha の水田地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。</p> <p>本地区の農業基盤の整備は、団体営ほ場整備及び農業構造改善事業等により行われたが、整備後 40 年以上が経過し、農業用排水路の老朽化や不等沈下により流水阻害や断面不足を起こしており、また、一部の農地では排水不良のため湿田化も見受けられ、日々の維持管理や営農に多大な労力を費やしており、営農意欲の減退が危惧されている。</p> <p>このため、老朽化した農業用排水路や暗渠排水の整備、区画の大型化を行い、農作業や維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化が進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。</p>																																																																																								
事業目標	【達成（主要）目標】 区画整理や老朽化した農業用排水路等を整備することにより、維持管理の軽減、耕作放棄地の拡大防止・解消を図り、中山間地域における農業者の確保及び優良農地の保全を図る。																																																																																								
事業費	事業費	内訳																																																																																							
	6.9 億円	■工事費 5.5 億円、■用補費 0.6 億円、■その他 0.8 億円																																																																																							
事業期間	採択予定年度	2022 年度	着工予定年度	2023 年度	完成予定年度	2027 年度																																																																																			
事業内容	（生産区域） 用水路工 6.4 km、排水路工 1.9 km、区画整理工 3.1ha、暗渠排水 11.5ha （保安全管理区域） 排水路工 0.1 km																																																																																								
II 評価																																																																																									
① 事業の必要性	1) 必要性	本地区の農業生産基盤は、一次整備は実施されているが、農業用排水路の老朽化や不等沈下による流水阻害や排水不良による湿田化により、水管理等に多大な労力を要し、日々の営農に支障をきたしていることから、優良農地を保全し、耕作放棄地の拡大防止・解消を図り、農業の生産性の向上と農業経営の安定を図る必要がある。 また、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」（2015 年 9 月農林水産省農村振興局整備部監修）に基づき算定した B/C は 1.4 で 1.0 を超えている。																																																																																							
	判定	A	A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。																																																																																						
② 事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償補填</td> <td></td> <td colspan="5">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事&lt;生産区域&gt;</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・区画整理工</td> <td></td> <td></td> <td colspan="4">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・用水路工</td> <td></td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水路工</td> <td></td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・暗渠排水工</td> <td></td> <td></td> <td colspan="4">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事&lt;保安全管理区域&gt;</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水路工</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="3">6.5</td> <td>0.4</td> <td>6.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種区分	調査・設計	←→						補償補填		←→						工事<生産区域>							・区画整理工			←→					・用水路工		←→					・排水路工		←→					・暗渠排水工			←→					工事<保安全管理区域>							・排水路工			←→				事業費（億円）		6.5			0.4	6.9	
		2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計																																																																																	
工種区分	調査・設計	←→																																																																																							
	補償補填		←→																																																																																						
	工事<生産区域>																																																																																								
	・区画整理工			←→																																																																																					
	・用水路工		←→																																																																																						
	・排水路工		←→																																																																																						
	・暗渠排水工			←→																																																																																					
	工事<保安全管理区域>																																																																																								
・排水路工			←→																																																																																						
事業費（億円）		6.5			0.4	6.9																																																																																			

	2) 地元の合意形成	土地改良法に基づく地元申請の事業であり、地元の合意形成が図られている。	
	判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。
			【理由】 地元の合意形成が図られており、実効性が期待できる。
III 対応方針			
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。		
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容			
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産区域における営農状況</li> <li>・ 保全管理区域における管理状況</li> </ul>			